

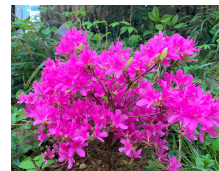
聖峰 seihou



今年の学校研究主題は

『ラーニング・アドベンチャー ～メタ認知スキルの強化を通して～』

「ラーニング・アドベンチャー」は、昨年度からの副題である「メタ認知スキルの強化を通して」自分の学びを客観的に捉え、計画を立てたり振り返ったりしながら自分で学習を進めていく生徒のことを表しています。昨年同様メタ認知スキルの向上を促進し、生徒が「自律した学び」として見通しをもって計画し、自分に合った学び方で進め、今日の学びを振り返って次の学びにつなげることができるよう、教員全体で継続的な指導を進めていきたいと考えています。



前期生徒会目標が決定しました 『不易流行』

松尾芭蕉が提唱した俳諧の理念の一つで、不変の真理（不易）と、時代に合わせて変化する流行（流行）のバランスを重視する考え方です。

「不易流行の意味は、昔のものは残しつつ新しいものを取り入れよう！！という意味です。錦中でも疑問に思っていることそとんどん発言して、自分たちが主体となって、みんなで錦中をつくっていきましょう。そのためにみなさんの力が必要です。積極的に意見を出しましょう。」という思いで前期生徒会役員が目標に決めました。



終礼前の時間を有効活用！



本校では、前年度より終礼前の時間を活用し、自分を振り返る時間を設けていました。今年度からは、「フォーサイト手帳」を活用したPT(プランニングタイム)を設けました。

さらにマインドセットの時間に呼吸法をプラスしました。

「マインドセット」とは、落ち着いた状態で自分と向き合うことで、自分の心を見つめ直すことが目的です。集中力のアップと、気持ちを切り替える効果が期待されます。

学び合いウィーク 第1弾

GW明けの5月7日（水）、8日（木）、12日（月）、13日（火）の4日間、7限目授業として「学び合いウィーク」を実施します。これは、45分授業の開始後、初めての7限目授業となります。全学年を対象に実施し、7日は国語、8日は社会、12日は数学、13日は理科に取り組みます。今回は「学び合いウィーク」の第一弾として、教科ごとの授業に焦点を当てた取り組みですが、将来的には全校で総合的な学習の時間を展開し、共通の探究課題を持つ生徒同士が集まり、意見交換や助言を行う場としたいと考えています。また、教科の授業についても、学年の枠を越えて、生徒が興味・関心のある教科をより深く学ぶことのできる「学び合いの場」へと発展させていけないかと考えています。

